鴨川市　森林環境譲与税の使途(令和７年度)

事業名	事業総額(円)				事業内容	実績	事業効果
	総事業費	うち当該年度の森林環境譲与税	うち基金取崩額	うち他の財源			
森林経営管理事業委託料	4,796,000	4,796,000	0	0	森林所有者への森林整備に関する意向調査の結果を踏まえ、今後の森林整備についての説明会の開催、現地調査を実施。	説明会開催　1回 現地調査　40ha プロット調査 17箇所	
林道舗装工事	957,000	957,000	0	0	J-クレジットにおける森林管理プロジェクトによる森林整備の効率の向上と安全性確保のため、林道の舗装を行う。	コンクリート舗装 81㎡	
千葉県森林クラウドシステム使用料	88,000	88,000	0	0	千葉県森林クラウド使用料	―	
景観林機能保全業務委託料	9,215,800	9,215,800	0	0	東条地区の快適環境形成機能を持つ松林おいて、松くい虫被害防止のため、薬剤の樹幹注入を行う。また、被害の状況に応じ、抵抗性を有する松の植栽をし、被害跡地の復旧を図る。	草刈り　3.9ha 薬剤注入　1,570本 枯死木･危険木伐倒 8本 植栽　5本	
千葉県森林経営管理協議会負担金	28,000	28,000	0	0	市が取り組む森林経営管理政策の推進、森林環境譲与税による取り組みや情報共有等の推進を図るための「千葉県森林経営管理協議会」の会費。	―	
鴨川市森林環境譲与税基金積立		11,785,200	0	0		―	

森林整備

千葉県　鴨川市（森林整備に向けた説明会及び現地調査の実施）

- 鴨川市では、市内の約62％が森林で、森林所有者の高齢化・経営意欲の低下や不在村の進行等により、適切な管理が行われていない森林が増加していることから、令和2年度に森林環境整備基本計画を策定し、市内を12の区域に分け森林整備の優先順位を付けたうえで、計画的に森林整備を実施していく。
- 令和3年度、令和4年度に森林整備の優先度の高い地区において、森林整備に関するアンケート調査を実施した。
- アンケート調査の結果、「森林整備を森林組合等に依頼したい」、「市に仲介してもらい森林整備を行いたい」と回答のあった森林所有者に対し、今後の森林整備の進め方について説明会を開催した。
- 説明会において、森林所有者の了解が得られたことから、令和6年度から森林整備を実施している。

□　事業内容

森林整備の説明会の開催

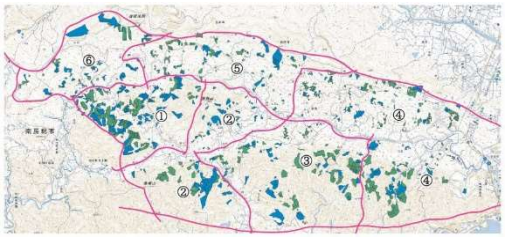
・アンケート調査を行った地区において、森林管理の意向のある所有者が多いことから、対象区域を６地区に分け、そのうちの⑤地区及び⑥地区において、今後の森林整備の進め方について説明会を実施した。

【実　　績】出席者　13名

森林整備箇所の調査

・令和６年度に実施した説明会において、森林整備の了解が得られた③地区及び④地区において、森林の調査を実施し、市の業務委託で発注する森林の区域を確定した。

【アンケート調査区域】



【説明会状況】



□　工夫・留意した点

・市に林務専門職員がいないため、地元森林組合と相談しながら、調査区域を選定した。

・森林整備の了解が得られた森林を調査し、林業経営が成り立つ森林については、森林組合の森林経営計画に編入して実施し、林業経営に適さない森林は、市が委託発注し施業する。

□　取組の効果

・森林整備の進め方の説明会を開催することができ、森林整備に向けての現地調査に進め、令和８年度に市で委託発注する区域を確定することができた。

◇　基礎データ

①令和７年度譲与額：26,870千円	**②私有林人工林面積**（※１）：3,538ha	
③林野率（※１）：64.3％	④人口（※２）：32,116人	**⑤林業就業者数**（※２）：18人

※１：「2025農林業センサス」より、※２：「R2国勢調査」より

森林整備

千葉県　鴨川市（保安林機能の保全）

- 鴨川市では、東条地区の国道128号沿いに約2㎞にわたり、飛砂防備機能・防風機能等を有する私有保安林が指定されている。
- 私有保安林は、森林整備や管理が行き届かない箇所もあり、松くい虫被害によりクロマツが枯れ、疎林化するなど保安林機能の低下が懸念されている。
- このため、草刈りや松枯れ防止薬剤の樹幹注入、枯死木の伐倒や新たにクロマツを植栽するなど、計画的に実施することにより景観や保安林機能の保全を図る。

□　事業内容

【事　業　費】9,215,800円（全額譲与税）
【実　　績】草刈り　39,085㎡
薬剤注入　1,570本
枯死木・危険木伐採　4 本
植栽　5本

【草刈り】



【薬剤注入】



【危険木伐採】



【植栽】



□　工夫・留意した点

・私有保安林のため、所有者に事業の趣旨を説明をし、理解を得て実施。
・森林の面積も広く、数年に分けて実施していくため、道路等の地形に合わせて区域を分割した。
・樹幹注入する薬剤は有効期間の長いものを選定した。
・植栽するクロマツの苗について、松枯れに抵抗性を有するものとした。

□　取組の効果

・危険木の伐採後に植栽することにより、保安林機能の維持が図られる。
・枯死した倒木の危険性のある危険木を伐採したことにより、歩行者や通行車両等の安全確保が図られた。

◇　基礎データ

①令和７年度譲与額：26,870千円	**②私有林人工林面積**（※１）：3,538ha	
③林野率（※１）：64.3%	④人口（※２）：32,116人	**⑤林業就業者数**（※２）：18人

※１：「2025農林業センサス」より、※２：「R2国勢調査」より

森林整備

千葉県　鴨川市（林道の整備）

- 鴨川市において、森林整備を通じたJ-クレジットの創出に取り組む林業経営体が増えてきている。
- 豪雨災害の激甚化や頻発化により、林道の洗堀被害が問題となっているが、従来の砕石による補修では対応が間に合わず、維持管理が困難になってきている。
- 鴨川市内のJ-クレジット制度を活用した森林整備の作業効率の向上と安全性確保のため、林道の舗装を行う。

□　事業内容

【事　業　費】957,000円（全額譲与税）
【実　　績】コンクリート舗装　27m

【舗装前】



【舗装後】



□　工夫・留意した点

・舗装工事と森林整備を実施する時期が重ならないよう、林業事業者と日程を調整した。

□　取組の効果

・維持管理にかかる原材料費を軽減することができた。
・林道を舗装したことにより、森林整備における安全性や効率化が図られ、今後の継続的な森林整備が期待できる。

◇　基礎データ

①令和７年度譲与額：26,870千円	**②私有林人工林面積**（※１）：3,538ha	
③林野率（※１）：64.3%	④人口（※２）：32,116人	**⑤林業就業者数**（※２）：18人

※１：「2025農林業センサス」より、※２：「R2国勢調査」より